

環境に関する取り組みに関する実行度評価表	
学校名	所沢市立明峰小学校
環境目標：	栽培活動に取り組み、作物の収穫を通して、自然や命の大切さを学ぼう
もっとも力を入れた環境活動（自由記述）	
活動名	
学校ファームでの栽培・収穫	
どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか	
学校ファームにおける栽培および収穫活動を通して、自然環境への理解を深め、作物を育てることの大切さや喜びを実践することができた。	
活動内容	
① 活動内容 「学校ファームにおいて、夏季には苗から夏野菜（ナス・キュウリ・トマト・モロヘイヤ等）を栽培し、冬季には種から冬野菜（大根・水菜・カブ等）を育てる活動を行った。夏野菜の栽培では、児童の意見を取り入れながら作物を選び、日々の水やりや観察を継続した。また、明峰タイム（総合的な学習の時間）において、育てた野菜の観察や新聞づくりを行い、学びを発表する活動を実施した。冬季には、児童が種の植え方を調べ、実際に種まきから栽培・収穫までを経験した。 ② 工夫した点 作物の選定にあたっては、児童の「育ててみたい」という思いを尊重し、主体性を高める工夫を行った。さらに、苗から育てる活動と種から育てる活動の両方を経験させることで、栽培方法の違いに気付けるようにした。いつでも、水やりができるように、じょうろをたくさん用意した。 ③ 児童が学んだこと 日々の世話を通して、作物が少しずつ生長していく様子に気付き、命や自然の大切さを実感することができた。また、水やりや観察を継続することで、責任をもって取り組む態度が育まれた。苗から育てる場合と種から育てる場合の違いを比較する中で、植物の生長過程への理解を深めるとともに、収穫できた際には大きな達成感や喜びを味わう姿が見られた。 ④ 今後の活動について 「今後は、冬野菜の栽培・収穫の経験をもとに、明峰タイムにおいてスライドにまとめ、発表する活動を行う予定である。栽培の過程や工夫した点、気付いたことを振り返ることで、学びを言語化し、表現力の向上につなげていきたい。また、今後も学校ファームでの活動を通して、環境や食への関心を高め、主体的に学ぶ態度の育成を図っていく。	

活動の写真

